



# ほんべつ 議会だより

No.74

平成27年8月1日発行



## みんなでワッショイ がんばるぞ！

6月20日 中央保育所運動会（清流公園）



## 第2回定例会

### 住宅改修等助成事業費などに係る補正予算などを可決

平成27年第2回定例会は6月2日に開会し、一般質問のほか一般会計他4会計の補正予算、本別町介護保険条例の一部改正などについて審議しました。審議された内容は次のとおりです。

#### 一般会計補正

#### 住宅改修等助成事業

住宅改修等の一部助成については、当初400万円を予算措置していましたが、申込件数の増加により、1,200万円を増額補正する提案がされました。

#### 問

①住宅リフォーム助成の申込件数はどのくらいか。  
②募集期間を11月末とし



リフォーム中の住宅

#### 答

①申込件数は5月末現在で67件です。  
②町内業者が年間で施工できる能力もあり、また、3年間で行う事業ですので、極端にふえた場合は、翌年度以降に行ってもらうよう相談をしたいと思います。  
雨漏りなど緊急的なものは対応していきたいと考えています。

ているが、希望が多ければさらに増額補正をする考えはあるのか。

### とかち広域消防事務組合議会議員の選出

とかち広域消防事務組合の設立（本年5月1日に設立）に伴い、同組合議会の議員選出（本別町議会からは2人選出）を行うため選挙を行いました。

選挙の結果、方川一郎議長、林武副議長が選出されました。

任期は、平成27年6月2日から平成30年8月9日までとなっています。



本別消防署

・このほか、専決処分承認を求める件（平成26年度本別町一般会計補正予算（第21回）の承認、向陽町及び栄町団地公営住宅に係る請負契約などの議案10件、監査委員選任について同意を求める件について審議されました。

平成27年8月3日に  
任期満了となる監査委員に

**畑山一洋氏**  
(北6丁目)

の再任に同意しました。

## 平成27年度各会計補正予算

会 計		(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計		(1,435万円) 62億5,179万1千円	人事異動及び管理職手当の率の改正に伴う人件費調整 マイナンバー制度導入に向けたシステム構築事業 本別町住宅改修等助成事業費
特 別 会 計	介護保険事業	(41万9千円) 9億2,808万4千円	認知症初期集中支援チーム設置に伴う事業費
	介護サービス事業	(△1,322万2千円) 2億7,363万1千円	人事異動及び管理職手当の率の改正に伴う人件費調整
	公共下水道	(297万7千円) 5億2,687万円	汚泥脱水機インバータ更新
病院事業会計		(△37万5千円) 14億9,737万9千円	常勤医師着任に伴う経費の調整

### 第2回臨時議会

開催日 4月23日

### 条例改正

### 本別町国民健康保険 税条例等の一部改正

地方税法の改正により、課税限度額の引き上げと、軽減判定所得の幅を広げ、軽減対象者の拡大を図る条例改正が提案されました。

○保険料の課税限度額の引き上げ

- ・基礎課税限度額  
51万円↓52万円
- ・後期高齢者支援金等課税限度額  
16万円↓17万円
- ・介護納付金課税限度額  
14万円↓16万円

○5割軽減、2割軽減の軽減判定所得の算定の引き上げ

**問** 昨年の実績から見て、今回の改正の影響額はいくらか。

**答** 推計ですが、123世帯、192万5,738円の増額です。

軽減判定分については、42万6,960円が減額されます。



住民課 国保窓口

### 新「教育長」に中野 博文氏を同意

### 教育委員会教育長任命に ついて同意を求める件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が設置されました。新「教育長」は議会の同意を得る必要があることから、現教育長の中野博文氏の任

命について提案されました。採決では、無記名投票の動議が出され、投票の結果、賛成多数で同意されました。任期は平成27年5月12日から3年間です。

### ホームページ掲載

皆さん一度ホームページを開いて見ませんか。

ホームページアドレス  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>  
(町ホームページ内「議会情報」をクリック)

### 議会についての ご意見をお寄せください

「ほんべつ議会だより」を見て議会に対する意見やご希望などどんな事でも結構です。どうぞ議会事務局までご連絡ください。

TEL 22-8123/FAX 22-2147

# 一般質問

6人の議員から9問

## 暮らし

### バイオガスプラント活用の方向性は

**答** 酪農家との連携が効率的で望ましいと考えます



阿保静夫議員

いと考えます

**高橋町長** バイオガスプラント発想のきっかけは、将来の下水道汚泥や生ごみの処理です。現在の酪農家の堆肥に混ぜ処理する方法は限界になってきています。

酪農家の方も糞尿処理が課題であり、JA本別町も内部で検討しているようです。酪農家の個別プラントに町のほうから委託するという方式が効率的であり、運営コストもよい形になるものと考えています。

### オンデマンド(予約制)町有バス運行の検討を

**答** 足の確保は、オンデマンドも含め、検討していきます

**阿保議員** オンデマンド型のコミュニティバス等の運行形態は道内外で増えています。管内では、タクシー会社と連携して運行している農村部の「乗り合いタクシー」が好評との例があります。

平成32年には本町の高齢化率42.5%とされており、オンデマンド型運行が必要になってくる時代ではないかと私は考えています。

太陽の丘循環バスは、必要に応じてバス停を増やしてきただことは評価しますが、次第に対応ができなくなるのではとも考えるところです。オンデマンド運行について、研究を進めるべきでは。

**高橋町長** 利用者の利便性、地域活性化を図るコミュニティバスとして太陽の丘循環バス(平成26年度、1万5,714人利用)、へき地患者輸送車



循環バス太陽号

(同、2,176人)を運行しています。オンデマンド運行については利点も課題もあると考えますので、オンデマンド方式を取れるか検討していきます。

### オンデマンド型コミュニティバス運行とは

利用者の予約に対応して運行する形態のバスです。地方自治体が運行するコミュニティバスが年々増加している中、財政負担の軽減や公共交通空白地域の解消に向け、導入する自治体が増えています。オンデマンド型運行は、乗合タクシーや予約に応じた自宅と目的地の間の送迎など、各自治体で様々な取り組みが行われています。



ものしり博士から

**阿保議員** バイオガスプラントについて昨年春に管内の各施設及び新潟、宮城の施設などを視察しました。議会の報告書は公設公営、民設民営などの長短所について、また、関係職員の方は、経費の課題と酪農畜産農家との連携について言及していると認識しています。



バイオガスプラント (宮城県白石市)

## 合同納骨塚とは

一つのお墓に複数の方が共同で使用のお墓です。少子高齢化・核家族化が進む中、身寄りがいない、経済的にお墓を建てることのできないなど、様々な事情で将来にわたり管理が難しいという方に対して整備されており、札幌市や北見市などの自治体で合同納骨塚が建設されています。使用条件については各自治体で異なり、町内に住所を有している方、自治体が管理する霊園等を使用している方などがあります。



## 合同納骨塚を設置する考えはないか

答 ニーズがでた時点でしっかりと考えます



高橋利勝議員

**高橋議員** 今、少子高齢化や核家族化のため墓の継承や維持管理が困難になったり、経済的な理由で墓を持たない方々のために合同納骨塚を整備する市町村があります。そこで本町において、そのような相談を受けたことがあるのか、また、合同納骨塚を整備する考えはないか伺います。

**高橋町長** 合同納骨塚については、ことし4月から帯広市で供用開始になっていますが、6月4日現在、87件の申請があり、その理由は、高齢、あるいは遠隔地に住んで居住しているため、お墓のお守りができないということが多いようです。



本別霊園（美里別東下）

本町においては、まだ町民の方々から直接相談を受けたことはありませんが、将来的には必要だと思っております。ただ、本町としては、まだ早いのかなと考えています。

**高橋議員** まだまだ合同納骨塚を知らない方々が多いと思いますが、今後ニーズがでて来た時には整備を検討するべきでは。

**高橋町長** その時点ではしっかりと考えていきます。

## 仙美里地区放課後子ども教室を設置できないか

答 地域にニーズがあれば設置することもできます

**高橋議員** 放課後子ども教室について以下2点を伺います。  
①勇足地区放課後子ども教室は、現在、公民館を使用していますが、地域の方々の話し合いの経過は。

②仙美里地区においても公民館を利用して放課後子ども教室のようなことができないかという声があります。どのように考えるか。

**高橋町長** ①勇足地区放課後子ども教室は、最初、勇足保育所を利用していただきましたが、人数が増えて間に合わなくなったことから、公民館を使用させていただいています。

地域の方々には、公民館の使用について支障のないようにするという条件で認めていただきましたが、都合の悪いことがあるのでしたら相談させていただきます。

②仙美里地区放課後子ども教室については、それなりのニーズがあれば設置することもできます。もう少し地域のニーズを調査させていただき、十分協議させていただきます。



勇足地区放課後子ども教室

## へき地保育所への三歳未満児の入所は

**答** 地域と協議し、現状を把握し、研究を進めたい



大住啓一議員

**大住議員** 本町には、常設保育所が二カ所と、勇足・仙美里にへき地保育所があります。三歳未満の幼児はへき地保育所に入所できない状況にあります。若いお父さん、お母さんは子育てに大変な思いで過ごしています。



勇足へき地保育所

仕事をしながらの子育ては、

保育所などを利用し稼業を営んでいるのが実情です。現状では、三歳未満児は常設保育所などを利用してはいますが、送迎に時間がかかり、農作業などにも影響があります。

若い方々が住みやすいまちづくりを進めるためにも、三歳未満児であっても、へき地保育所に入所できる方策について検討するべきだと思います。が、考え方を伺います。

**高橋町長** 現下のへき地保育所に三歳未満の幼児が入所することはできません。入所できる体制にするには、給食の提供や保育従事者の確保などが必要となります。へき地保育所の問題は、今後、保護者や地域を交えて研究に入り、幼稚園と常設保育所の一体的な整備方針について27年度中に一定の方向を出したいと考えています。



## 観光

### 町が誘致したアリスト本別ゴルフ倶楽部の状況について

**答** 良い方向性が見出されるよう見守りたい

**大住議員** 町が誘致したアリスト本別ゴルフ倶楽部は、平成15年秋にオープンし、最盛期には、四千人を超える利用がありました。

町民ゴルフ大会の開催や、この間、多くの町民の方の雇用も生まれました。しかし、近年の利用者の減少により、経営の悪化が懸念されています。が、今季はクローズとして営業を行わない旨の行政報告が先の臨時会でなされました。

活用方法として、地続きでもある勇美帯牧場もあることから、牧場として利用することも考えてみてはどうですか。今後は、良い方向性や利用策が見出されるものと思いますが、行政としてどのように進めるのか伺います。



アリスト本別クラブハウス

**高橋町長** 町としては、今季クローズとする旨の報告をいただいた後、町内の団体・企業などにゴルフ場の方向性に関し、検討に資する情報提供を行っていますが、会社としては現段階では検討中とのことです。

今後、ゴルフ場の良い方向性、利用策が見出されるよう、推移を見守りたいと考えています。

## 新たな本別町の特産品の開発について

**答** 指導員の技術指導により新商品が開発されています



矢部隆之議員

**矢部議員** 北海道横断自動車道が白糠ICまで延伸され、本別町にもさらに観光客が増えると思います。

そこで、特産品開発について新たな豆製品の開発や、乳製品の開発のため、技術指導

員が常駐しているゲンキッチンを活用し、開発、製品化に向け予算を拡充する考えはないか伺います。

**高橋町長** 新製品の開発について、ゲンキッチンの指導員による技術指導を行いながら、新商品の開発を頂いております。また、新しい商品として肉加工も含めて若い酪農家を中心に乳製品の加工開発も進んで来ております。

今後、本町の特産品が観光に結びつくことが多くなってくると思いますので、本町の特色を情報提供し、観光に来ていただいたり、また、移住、定住も含めて注目してもらえような方策をとる努力をしていきたいと思えます。

ゲンキッチンの予算措置は、利用者数の実態に合わせて、運営に支障が出ないように対応しています。



乳製品の開発中（ゲンキッチン）



## 教育

### 特別支援学校「高等部」誘致の考えは

**答** 特別支援教育の充実を求めて、引き続き要請をしていきます



篠原義彦議員

**篠原議員** 知的障がいのある子ども達の生活の向上を図ることが重要です。また、将来少しでも自立できるように、一日も早い高等支援学校の配置が望まれています。現状については。

将来ある子どもの社会参加に向け専門的な教育を受ける場を広げるため、特別支援教育の充実を求めて、今後も引き続き要請をしてまいります。

**高橋町長** そらの会によって十勝東北部の方達よりいただいた7,750筆の署名は大変なことです。そのことはいささかもぶれずに、これからはもしっかり要請を続けて何とか位置付けができるよう頑張ります。

**中野教育長** 平成25年9月初旬に北海道教育委員会が特別支援学校の設置を検討している旨の情報を入手したことから、本町に設置するよう関係機関の御支援をいただきながら要請を行ってまいりました。最終的に道教委は、公共交通の利便性を理由に新得高校に二間口の開設が決まったと



就労継続支援者による農作業

## 本別高校生徒の確保について

答 小中高の連携の研究・推進を図ります



林 武議員

と思います。支援策も必要ですが、勉強でもスポーツでも、卒業後の進路がどう開けるかが大事だと考えますが。

**林議員** 2013年度は38人の入学者で、本高始まって以来の1学級となった経過があります。本年も10月頃から体験入学が始まり、順次、進路指導、三者面談を経て最終進路が決まる12月頃が正念場だ



本別高校

**中野教育長** 管内の中学校を訪問し、本別高校の特徴と支援策のPRを行います。中学卒業者が減少傾向で厳しい状況ですが、地域の進学校として学習サポートの継続と拡充を図り、部活動の充実に努めるため、関係団体の協力を得ながらしっかりと取り組みます。

**林議員** 本別独自の小中高の連携は必要だと考えますが。

**中野教育長** 小中高の連携は大切です。高校にも一層連携を深めていただくようお話をし、研究しながら進めていきたいと考えます。

本別高校を可能な限り、支援してまいります。

## 全道議員研修会に参加

7月7日、札幌市において町村議会議員研修会が開催され、全道から約1,800人が集まり、本議会からも12人の議員が参加しました。

中央大学名誉教授の今村都南雄氏、テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏の講演を聞き、議会活動への研鑽を深めました。



## 環境整備に汗

5月25日、議員会で本別温泉グランドホテル前の道道のゴミ拾いを行いました。

2時間程度の作業で、軽トラック3台分のゴミが集まりました。





### 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定など、新たな政策課題に直面しています。

国の2016年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、社会保障予算の充実、地方一般財源総額の現行水準の維持、確保を図ることを求めます。

提出者 高橋利勝



### 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

国においては、義務教育費国庫負担制度の堅持、国庫負担率1/2への復元など、教育予算の確保、拡充、就学保障の充実を図ること。また、30人以下学級の実現、地域の特性に合った教育環境の整備、就学援助制度の充実に向け、予算の確保、拡充するよう要望します。

提出者 黒山久男



第2回定例会に4件の意見書が提出され、3件が原案可決しました。要旨については、次のとおりです。

【要旨掲載】

### 安全保障関連法案に反対する意見書

安全保障関連法案は、多岐に及んでいますが、国会論戦によって法案の危うさが明らかとなりつつあり、国民の間に不安が高まっています。

よって、政府は関連法案の速やかな取り下げをすように求めます。

提出者 高橋利勝



### 労働者保護ルールの改定に反対する意見書

労働者派遣法改正案を撤回し、派遣労働者と正規労働者の間の均等待遇の確保を推進すること。また、労働時間（時間外労働）の上限規制や勤務間インターバル規制等を導入して、長時間労働を抑制し不払い残業を根絶することを強く要望します。

提出者 阿保静夫



### 安全保障関連法案に反対する意見書に対する討論

#### 反対討論 大住議員

国防、外交は国の専権事項であり、現在立法院において審議、論戦中であることから意見書に反対です。

#### 賛成討論 阿保議員

国会で3人の憲法学者がそろって法案は憲法違反という認識を表明しました。憲法に違反する法律は民主主義の日本においては存在し得ないものです。

法案は、自衛隊員の若者の命が危険にさらされ、同時に他国の人を傷付け、傷付けられることにつながるものだと思います。したがって、本法案は取り下げるべきであり、意見書に賛成です。

#### 反対討論 山西議員

世界各地では緊張が生じています。集団的自衛権の行使を可能とし相互協力体制の強化は当然と言わねばならない。

世界の人は憲法9条を知っているわけではなく、テロリストが憲法9条があるから攻撃しないと知るはずもありません。日本が他国に組み込まれなかったのは日米同盟と自衛隊があったからだと思います。よって意見書には反対です。

#### 賛成討論 黒山議員

憲法は集団的自衛権の行使を許さないとされています。また全国200人を超える憲法学者が法案の廃案を求めています。この意味は重いと考えます。

この法案によって日本の安全が守れるのか、自衛隊のリスクの問題等、多くの国民が疑問に思っています。本町は戦争で多くの犠牲者を出しています。その立場からも法案は取り消すべきであり意見書に賛成です。

#### 採決の結果

賛成者5人 反対者6人で否決されました。

# 行政報告

第2回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

## 第2回 定例会

### 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、所得の低い方や子育て世帯に与える負担の影響を緩和するため、昨年に引き続き行うものです。

臨時福祉給付金は、対象者1人につき6,000円を支給するもので、課税者の扶養親族や生活保護制度の被保護者は対象外となります。

申請期間は、8月3日から11月4日までとし、支給開始は10月1日からを予定しています。

また、子育て世帯臨時特例給付金は、児童手当支給の対象児童1人につき3,000円を支給するものです。

申請期間は、6月1日か

ら9月1日までとし、支給日は10月9日とする予定です。



臨時福祉給付金等の申請書

### ドクターヘリの十勝圏への運航圏拡大

ドクターヘリの運行については、十勝地域は地理的な要因等から、全道で唯一の空白地域となっています。

昨年6月以降、各市町村や医療関係者でつくる「十勝保健医療福祉圏域連携推進会議」において、昨年12月に道東ドクターヘリの運航圏域の拡大を要請する案を決定しました。

この決定を受け、十勝町村会において、本年3月に帯広市と協議を行い、5月

に19市町村長連名で道東ドクターヘリ運航調整委員会に運航圏域拡大を要請し、道北ドクターヘリ運航調整委員会については、日程が調整されしだい要請を行う予定となっています。

今後とも、ドクターヘリを活用した救急医療体制の充実強化に向けて努力してまいります。

### 十勝圏における消防広域化に向けた検討経過

消防広域化については、5月1日付けで知事許可を受け、「とかち広域消防事務組合」が設立されました。

現在、とかち広域消防事務組合、池北三町行政事務組合を始めとする既存消防事務組合及び各市町村において、スムーズな移行のための体制整備及び規則整備の事務作業を進めています。

引き続き、オール十勝により検討・協議を進めてまいります。

### 常勤医師確保及び退職

新任医師は、朝井基裕

（あさいもとひろ）医師で、内科全般を幅広く診ていただけるとともに、専門が呼吸器科であることから、呼吸器外来の業務も担っていた。期待をされています。



着任された朝井医師

次に常勤医師の退職ですが、平成21年から内科で診療していたいました磯村泰之医師から、6月末付けで退職したい旨の申し出がありました。やむなく受理いたしました。

7月以降の診療体制については、外科の水曜日午後外来及び外科・内科の金曜日午後外来を休診する予定です。

### 議会用語の解説

#### 《意見書》

意見書の提出権は、「町村の社会公共の利益」に関する事について、町村の議決機関としての議会の意思を決定して、国、道等に表明する権利であり、唯一法律に根拠を置いて対外的にその意思を表明して、公共の利益の増進を図る権限を持っています。（地方自治法第99条）

意見書を提出する場合は、本別町議会会議規則により賛成者2人以上（提出者も含む）の連署をして議長に提出し、本会議において可決された場合、関係機関（国会や国、道などの関係行政庁）に提出することになります。

本別町議会では、平成26年中に提出された意見書は20件です。

# 委員公出しポート

## 総務

### 常任委員会

調査日／平成27年4月22日

○第6次総合計画のうち、町民参加のまちづくりの経過と見直しについて

1. 町民参加のまちづくりの経過と見直しについて

◇町民参加の機会拡大

〈推進状況について〉

①条例委員などの公募制の充実

②計画策定などの町民参加の拡大

③（仮称）自治基本条例の制定

〈課題・今後の動向〉

○公募に応じる方が少ない。

○（仮称）自治基本条例の制定に向けては町民の手で作らねばならないと考

◇町民協働の体系づくり

〈推進状況について〉

①町民協働意識の向上

②町民協働事業の推進

〈課題・今後の動向〉

○まちづくりにおける協働の主体は、町民、NPO、企業など協働のパートナーにある。

○協働は責任と行動において相互に対等であることが不可欠。

◇協働の担い手の支援

〈推進状況〉

①町民向け講座の充実

②町民活動情報の発信

〈課題・今後の動向〉

○全体的には各講座への参加者が固定化、高齢化していることから町民の要望に基づき講座等の開催

○SNSなど多様な方法で町民と行政の双方向の情報発信の検討

まとめ

町民が参加する委員会や検討会議では、公募する町民の割合が少なく、また参加者の中には「行政主導」と感じている町民もいることから、後期計画の推進にあたっては、さらに町民

の声を反映できるように、課題と今後の動向を着実に実施するべきと思います。

## 産業厚生

### 常任委員会

調査日／平成27年4月24日

○商業振興対策について

(1) 本別町の人口、商業の変遷

本別町の人口は、昭和34年の18,852人をピークに年々減少し、平成25年2月末日の住民基本台帳人口は、7,680人となっています。

小売・卸売業等では、昭和41年、294軒から平成24年には63軒。工業では、昭和45年、42事業所から平成24年には11事業所といずれも減少しています。

(2) 具体的な中期の方向性及び施策概要

①農産物を活用した付加価値を高める取り組み

②ソーシャルビジネスの取り組み

③林産資源を活用した関係企業の育成、誘致

④高速道路網を活用した観光・商工振興

まとめ

プレミアム商品券（暮らし支援20%上乘せ）の発行事業は、短期間の中完売されました。地域経済に及ぼす波及効果は大きなものと考えますので、今後も続けて行けたら良いと思います。

概要

平成17年5月に着工し同年9月に竣工しています。現在12区画中、4区画が売却済みとなっております。1区画当たりの面積は、



銀河通り

168坪から198坪で、平均坪単価は約7,000円となっています。

今後の対応について

継続した広報・PR活動などの取り組みや、購入要件の緩和や住宅建設の支援制度などの検討も行い、販売促進に努めます。

まとめ

東京本別会、札幌本別会、帯広本別会などにも呼びかけ、故郷へ帰ってきて住んでいただけるようPR活動も大事ではないかと感じます。

○勇足定住促進団地の現状と今後の対応について

概要

平成17年5月に着工し同年9月に竣工しています。現在12区画中、4区画が売却済みとなっております。1区画当たりの面積は、



勇足定住促進団地

# ユートピア



町民一人ひとりに  
合った環境で  
生活ができるように



土本直美さん(拓農)

今回は、初めて議会の傍聴にいらした、拓農にお住いの土本直美さんにお話を伺いました。

傍聴に来られたきっかけは、同じ美里地区に議員がいること、女性議員がいること、また、ご自身が所属している「そのの会」の活動のひとつである特別支援学校誘致の一般質問があるということ、仲間で誘い合って来られたそうです。

傍聴された感想は、想像より議員が近くにいることに驚いたそうです。また、議会だよりの写真を見て、堅いイメージがあり、議場

内では緊張されていたようですが、お茶が飲める休憩スペースがあり「とても良いですね」と言っていたいただきました。

一般質問については、議員さんの質問や町長や職員が伝わり、頑張っておられる姿が見られました」と話してくれました。また、「子ども達にも見る機会を」というご意見もいただきました。

土本さんは本別町で生まれ本別高校卒業後、帯広に就職、昭和59年に本別で結婚され、現在、美里別地

区公民館の管理人をされています。

また、「そのの会」という、障がいを持つ親、子育てや家庭の問題に悩んでいる親を支えあっている会の会長もされています。ご趣味を聞きますと、読書が好きで熱中すると夜中まで読んでいるそうです。

これからの議会や町政に對しては、「福祉の町なので、町長もお話をされていますが、町民一人ひとりに合った環境で生活ができるように進めていただきたい」とのことでした。

## 議会日誌

### 〔 5 月 〕



- 18日 議会運営委員会
- 19日 議員協議会
- 22日 十勝圏活性化推進期成会文教福祉委員会(帯広市)、十勝町村議会議長会定例会(帯広市)
- 25日 ボランティア活動(ゴミ拾い)
- 29日 議会運営委員会、池北三町行政事務組合議会臨時会(足寄町)

### 〔 6 月 〕



- 1日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会総会(北見市)
- 2日 第2回定例会開会、林活議連役員会、議会運営委員会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 十勝圏活性化推進期成会総会(帯広市)
- 5日 議会運営委員会
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(議案審議)、林活議連総会、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 14~15日 札幌本別会(札幌市)
- 17~18日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 20~21日 東京本別会(東京都)
- 22日 とかち広域消防事務組合議会議員協議会(帯広市)
- 25日 議員協議会、総務常任委員会、広報広聴常任委員会
- 29日 十勝圏一部事務組合議会臨時会(帯広市)
- 30日~7月2日 総務常任委員会行政視察(ニセコ町、喜茂別町)

### 〔 7 月 〕



- 7~8日 北海道町村議会議長会議員研修会(札幌市)
- 10日 広報広聴常任委員会、総務常任委員会勉強会
- 13日 新任議員施設見学
- 14日 議員協議会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 広報広聴常任委員会
- 21日 総務常任委員会所管事務調査(出前委員会)
- 23日 議会運営委員会、新任議員研修会(帯広市)
- 27日 十勝町村議会議長会定例会(豊頃町)
- 28日 十勝林活議連役員会
- 29日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望(札幌市)
- 30日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望(東京都)
- 31日 議員協議会、議員会役員会

## 9月定例会は 8日から予定しています

私たちの住む町の議会です  
どなたでも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか